

先週の説教要旨

『一人の正しい人が世を救う』

井上隆晶牧師

エレミヤ 5：1～6、ローマ 5：18～21、
ヨハネ 1：14～18

❶【一人の正しい者がいたら滅ぼさない】エレミヤ5章の1節に「エルサレムの通りを巡り、よく見て、悟るがよい。広場で尋ねてみよ、ひとりでもいるか。正義を行い、真実を求める者が。いれば、わたしはエルサレムを赦そう。」と主は言われます。本当に神を恐れ、真実を求める人はいるだろうか、と尋ねたが誰もいないというのです。そしてもし、そのような人が一人いたら、神様はエルサレムを赦すと言われました。ここを読むとソドムの町を思い出します。神様はソドムとゴモラの町を滅ぼすことにしました。そこでアブラハムは神様に「あなたは正しい者を悪い者と一緒に滅ぼされるのですか。…全世界を裁くお方は、正義を行われるべきではありませんか。」(創世記 18：23、25)と言って談判し、50人正しい者がいたら、45人いたら、40人いたら、30人、20人、10人いたらと、町の救いのために執り成しました。神様は「10人のために私は滅ぼさない」(創世記 18：32)と約束をして下さいましたが、結局滅んでしまいました。正しい者が10人いなかったからです。榎本保郎牧師はこう書いています。「本当のキリスト者が日本に一人いるなら、日本を支え、日本を守る。それはどんな軍備や、予算をもって日本の防衛にあたるよりも、もっと確かな日本の守りとなるのである。…軽い砂が海と陸との境界を守っているように、神の約束は人に軽いようでも永遠不変である。」

❷【一人の人が群れ全体を滅ぼし、また

群れ全体を救う】聖書では、救いは個人のものではなく、全体(連帯)で考えられています。たとえば旧約時代にアイという小さな部族を攻めた時、イスラエルは大敗北をしました。アカンという一人の人が、滅ぼし尽くしてささげるべきものの一部を盗み取ったからです。(ヨシユア 7：1)一人の罪によって、群れ全体が罰せられたのです。同じように一人の信仰者が、群れ全体を救うのです。パウロはこう書いています。「そこで、一人の罪によってすべての人に有罪の判決が下されたように、一人の正しい行為によって、すべての人が義とされて命を得ることになったのです。一人の人の不従順によって多くの人が罪人とされたように、一人の従順によって多くの人が正しい者とされるのです。」(ローマ 5：18)一人の罪、一人の不従順というのはアダムのことです。一人の正しい行為、一人の従順というのはイエス・キリストのことです。ルターは「万人祭司」といいました。理想としては素晴らしいですが、現実的には無理でしょう。皆がコルベ神父になれるでしょうか。皆がマザー・テレサの働きが出来るでしょうか。決してできません。彼らは生まれる前から選ばれた人であり、使命が与えられ、それを全うする賜物をいただいて生まれてきた人たちなのです。彼らは自分の為ではなく、多くの人の代わりに善行を行い、キリストを証し、信仰を守り抜き、多くの人の救いを祈り、自分自身を献げたのです。それはキリストの働きを世に現すためです。

❸【人が変わらないので神が変わった。神だけが人を救える】私はエレミヤ書を読みながら思いました。イスラエルの民はどうしてこんなに頑固で、物分かりが悪く、不従順なのだろう。奇跡を体験してもすぐに神を忘れ、聖書をいくら

週報

日本キリスト教団 都島教会

伝道所設立 1957 年 12 月 1 日 教会設立 2001 年 12 月 2 日

〒534-0012 大阪市都島区御幸町 2-6-17

TEL06-6922-1120 FAX06-6922-1120

E メールアドレス：3533osgm@jcom.zaq.ne.jp

ホームページアドレス：https://miyakojima-church1.com

郵便振替 00920-4-1442 日本基督教団都島伝道所

主任牧師 井上 隆 晶

2025年11月30日 No.1848



《洗礼者ヨハネ》

都島教会の 2025 年度の宣教方針

標語 《会堂建築の準備をしよう》

聖句 「主御自身が建ててくださるのでなければ、家を建てる人の労苦はむなしい。」(詩編 127：1)

2025 年度の目標

- 1 毎週礼拝を守り、礼拝出席平均 28 名を目指します。
- 2 一年間に一人を礼拝にお誘いします。
- 3 信徒の交わりを大切にします。
- 4 会堂建築のための具体的な準備を進めます。